

福岡県福祉サービス第三者評価の結果

【第三者評価機関】

名 称	公益社団法人福岡県社会福祉士会		
所在地	福岡市博多区博多駅前3-9-12		
T E L	092-483-2944	F A X	092-483-3037
訪問調査日	令和3年12月8~9日	評価調査者 登録番号	15-a00040 19-b00137

【福祉サービス事業者・施設基本情報】

法人名称	しやかいいりょうほうじん せいしゅうかい 社会医療法人 青洲会		
法人の 代表者名	りぢちよう なかむら みきお 理事長 中村 幹夫	設立年月日	昭和59年 5月
施設名称	ぶるーすたー ほいくえん ブルースター保育園	施設 種別	保育所
施設所在地	〒811-2316 福岡県糟屋郡粕屋町長者原西四丁目11番地8号		
施設長名	いのうえ ひろこ 井上 浩子	開設年月日	平成 30年4月1日
T E L	092-410-0001	F A X	092-938-0346
Eメール アドレス			
ホームページ アドレス	https://f.seisyukai.jp/hospital/feature/nursery/		
定 員	40名（現員40名） ※該当を○で囲む		

職 員 数	常勤職員：17名		非常勤職員：5名
専 門 職 員	園長 1名	主任専任保育士 1名	保育士 17 名
	事務員 名	看護師 1名	子育て支援員 2 名
施設・設備 の 概 要	乳児室 1室	調乳室・調理室 1室	授乳室 1室
	保健室 1室	遊戯室・多目的室 1室	保育室 3室
	ほふく室 1室	事務室 1室	

◆◆施設・事業所の理念・基本方針

理 念	子ども一人ひとりを大切に、豊かな心と丈夫な身体を育みます。 保護者から信頼され、地域から愛される保育園を目指します。
基 本 方 針	<p>○良質な水準かつ適切な内容の保育・教育の提供を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指します。</p> <p>○保育・教育の提供にあたっては、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するため、利用子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するよう努めます。</p> <p>○利用子どもの属する家庭及び地域との結びつきを重視した運営を行うとともにその支援を行い、都道府県、市町村、小学校、他の特定教育・保育施設等、地域子ども・子育て支援事業を行う者、他の児童福祉施設その他の学校又は保健医療サービス若しくは福祉サービスを提供する者との密接な他の児童福祉施設その他の学校又は保健医療サービス若しくは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。</p>

◆施設・事業所の特徴的な取組

◆施設・事業所の特徴的な取組	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育園ICTシステムを使って年齢別の年間計画、月案、週日案を作成し、電子媒体に記憶し、その情報を保育者間で共有し、チーム保育の実践に役立てている。 2、保護者との連絡についてはSNS回線を使い電子的に情報交換している。 3、就労支援として休日保育と延長保育（20時まで）を実施している。 4、行政機関との相互連携を図り個別支援を行っている。
----------------	---

◆第三者評価の受審状況

評価実施期間	契 約 日	令和3年 8月 1日
	訪 問 調 査 日	令和3年 12月 8日～9日
	評価結果確定日	令和4年 3月 11日
受審回数（前回の受審時期）		今回の受審：1回目（前回 年度）

【評価結果】

1 総 評

(1) 特に評価の高い点

○大規模な医療法人の一部門としてあり、病院が隣接しているため医療的な部分（健康管理・感染症対策等）が徹底されている。園長自身が看護師であり職員の指導も十分になされています。

○衛生管理について、医療水準と同様の高い取り組みが保育の中で実施されています。

○医療法人に人事・労務・財務をつかさどる専門の部署があり、管理が徹底されている。したがって残業の管理、キャリアパスや人事考課、ハラスメント規程等の組織運営上整備しなければならない規程が整っています。

○病院職員の勤務（夜勤・早出・遅出：休日出勤）に合わせて、子どもを預かるシステムが確立されていて、育児休暇明けの職員の働きやすい環境が整えられています。

○町の要請にこたえて、平成30年から地域型保育事業として認可を受け10名の地域枠を設けて地域貢献しています。

○ICTシステムが導入され、記録等できるだけ紙ベースでのやり取りが少なくなっており、省力化できています。また、一元的にタブレットで連絡、記録、保管しているため、業務の効率化に取り組まれています。

○SNSも活用し、保護者が安心して預けられる要望に園全体で取り組んでいます。

○園外の社会資源も把握し、遊びを通じた子ども達の心身の発達と、子ども達と地域の交流も図られ、社会体験の良い機会も日々、作られています。

○職員の離職率が低く、安心して子どもを預けることができる体制が確立しています。

○専門機関との連携やスーパーバイズ、希望研修への参加など専門性の質を上げる取り組みがなされています。

○法人内の病院に勤めるご家庭のために独自サービスで夜間保育を実施し、そのノウハウを持っていることは大きな強みです。

(2) 改善を求められる点

- 企業内保育所の性格上やむを得ない部分もありますが、病院の活動に左右されて主体的に保育所の活動ができにくいところに課題が残ります。
- プライバシー保護など各種マニュアルの拡充と見直す仕組みが望まれます。
- 常日頃からご家庭と密に連携していますが、定期的に利用者の満足度を把握するため、アンケートなどの取り組みを期待します。
- 地域ニーズに応えるため、定員増など自治体の要請に応じていますが、更に地域住民のニーズを把握するための取り組みに期待します。
- コロナ禍ではありますが、実習生の受け入れは、専門職の育成という保育所の社会的使命でもあります。積極的な取り組みを期待します。

2 第三者評価の結果に対する事業者のコメント

開園4年目で初めて第三者評価を受けました。事前に自己評価表を提出することを通して、今まで行ってきた保育・運営管理を見直す良い機会となりました。

高い評価いただいた点は、私たちが当たり前に行っていたことも、良い点として具体的になり自信にもなりました。更に良くなるよう、そのことを活かして子ども子育て支援に努めてまいります。また、ご指導いただいた保育所の社会的使命である実習生受け入れも積極的に行っていこうと思います。

保護者に対しても定期的にアンケート行い満足度を把握し、保育理念に掲げている保護者から信頼され地域から愛される保育園を目指します。評価機関の皆様には終始懇切丁寧なご対応と、職員と、子どもや保護者それぞれの立場にたった調査、ご指導をいただきました事に心より感謝申し上げます。

3 共通評価基準及び個別評価基準の評価項目による第三者評価結果 (別添)

【保育所・評価項目による評価結果】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
項 目		評価	コメント
1	I-1-1(1)-①	a	○法人の理念や保育所の理念がパンフレットに記載されています。 ○職員、保護者にも周知が図られています。

I-2 経営状況の把握

I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
2	I-2-1(1)-①	b	○町福祉課との会議や町の保育所の園長会などに出席して情報の収集に勤めています。 ○保育のコスト分析や利用者の推移等の分析が定期的に行われています。 ○地域型保育事業の性格から積極的な分析をしてそれを活かすという処まではできていません。
3	I-2-1(1)-②	b	○経営状況や改善すべき課題について園長会議で検討されています。 ○経営状況や改善すべき課題について職員に周知が図られています。 ○主たる保育事業が企業内保育所である点。また2歳児までの受け入れである点から年度当初の子どもの数が少ないという経営課題があり、経費を抑える努力はされていますがその解決は悩ましい問題です。

I-3 事業計画の策定

I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
4	I-3-1(1)-①	b	○法人全体の中長期計画の中に保育事業が位置付けられています。 ○企業内保育事業から地域型保育事業に移行して日が浅いこともありますが、保育所の今後の方向性が明確にされることが期待されます。
5	I-3-1(1)-②	b	○単年度の目標や行事の計画等は策定されています。 ○中長期計画を具体化した明確な単年度計画が作成されることが期待されます。
I-3-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。			
6	I-3-1(2)-①	b	○単年度の事業計画は職員の参画の下に策定されています。また、各クラスで事業計画の反省をしています。 ○職員への周知はタブレットで行われています。 ○事業計画の評価をして次の計画に生かすという作成手順を明確にすることを希望します。
7	I-3-1(2)-②	b	○事業計画は広報誌や掲示物で保護者に周知されています。 ○保護者代表との会議で説明されています。 ○わかりやすく説明した資料を作成する等、保護者の参加を促す観点からの工夫が求められます。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-1 (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
8	I-4-1(1)-①	b	○各クラスで会議を行い、保育内容の検討が行われています。 ○各クラスの検討内容は職員会議で報告されています。 ○組織的にPDCAサイクルを活用する取り組みが行われることを期待します。
9	I-4-1(1)-②	b	○自己評価を通して取り組むべき課題が明確になっています。 ○第三者評価は今回初めての受審で評価結果を元に具体的改善策が検討されることを期待します。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	II-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b ○管理者・施設長・主任保育士等職務分掌がなされ、文書化して保護者にも配布されています。 ○有事の際の役割と責任についても明確になっています。 ○施設長は広報誌等を活用して自らの信念や役割等をよりわかりやすく表明することが期待されます。
11	II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b ○法人本部人事部にて遵守すべき法令について改正の都度、把握して規程等を作成して保育所の現場に下ろしています。 ○園長は法人内研修等で把握しています。 ○現場の責任者である園長が部下を指導する意味でも積極的に法令を把握して、周知していくことが望まれます。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	II-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b ○保育の質の向上について職員の研修の充実が図られています。 ○職員それぞれに目標を設定して取り組みが行われています。 ○保育の質の向上について定期的、継続的に評価・分析が行われることが期待されます。
13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b ○法人本部保育事業担当部署で経営の改善や業務の実効性の向上に向けて検討がされています。 ○園長は組織の理念や基本方針の実現に向けて、職員配置や働きやすい環境整備に取り組んでいます。 ○出発が企業内保育所であるため保育所の将来性や継続性という観点で、法人全体での検討が望まれます。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a ○休みがとりやすいということもあり、職員の定着率が極めて良好です。 ○保育所として、効果的な福祉人材確保ができています。 ○必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立しています。
15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a ○期待する職員像が明確にされています。 ○人事基準や評価基準が明確にされています。 ○職員が自らの将来像を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a ○職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータが定期的に把握されています。 ○ワークライフバランスに配慮した取り組みが行われています。 ○個人目標を設定して、自己評価と上司の評価が行われ、結果もフィードバックしています。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
17	II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a ○期待する職員像が明確にされています。 ○職員一人ひとりの目標が設定され、目標達成度を確認する仕組みが確立されています。
18	II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b ○基本方針の中に「期待する職員像」が明記されています。 ○職員はキャリアアップ研修や外部研修を受講しています。 ○研修計画を作成して、計画の評価と見直しが行われる仕組み作りが期待されます。
19	II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b ○職員はキャリアアップ研修や感染症対策の研修を受講しています。 ○外部研修に関する情報の提供も行われ、参加が奨励されています。 ○職員の習熟度に併せて個別的なOJTが行われる等、一人一人に合わせた研修計画が作成されることを希望します。

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	II-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	C ○企業内保育所として出発して、地域型保育事業として認可されて日が浅いため、実習生の受け入れは行われていません。保育の質を高めるためにも、受け入れ体制が整備されていくことを希望します。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b ○重要事項説明書に保育理念や基本方針が掲げられています。 ○地域に園だより等の広報誌を配布しています。 ○地域の福祉向上のための取り組みや苦情の内容を公表する等、更なる情報公開が行われることを希望します。
22	II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b ○法人本部による内部監査が行われています。 ○保育所における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ職員にも周知されています。 ○法人全体に対して外部の専門家（公認会計士）による監査が行われていますが、保育所に対するそれは確認できませんでした。保育事業に対するきめ細かな点検が期待されます。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
23	II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	C ○役所のお知らせ等を園の掲示板に掲載しています。 ○企業内保育所からの出発で地域型保育事業の認可を受けてからの日が浅いため、地域との交流は十分には図られていません。今後の活動に期待します。
24	II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C ○企業内保育所からの出発で地域型保育事業の認可を受けてからの日が浅いため、ボランティアの受け入れは活発に行われていません。今後の活動に期待します。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
25	II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a ○管理者が定期的に連携会議に参加しています。 ○家庭での虐待等が疑われる子どもについては要保護児童対策地域協議会に参画しています。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
26	II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b ○法人は町の福祉課や健康課等と交流があり、福祉状況の把握にも努めています。 ○民生委員との会議も持っています。 ○保育所の機能を地域へ還元したり、地域住民に対する相談事業を実施する等、更なる取り組みが期待されます。
27	II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	C ○企業内保育所からの出発で待機児童の解消のため町からの要請で地域型保育事業の認可を受けています。認可からの日が浅いため、地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な取り組みは今後の課題となります。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
28	Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b ○子どもを尊重した保育の提供は基本方針に掲げられ、スローガンとして謳われています。 ○法人として研修が実施されています。 ○子どもを尊重した保育の提供は、職員が理解しやすいよう行動指針として示されています。 ○子どもの人権や文化の違いなどについて具体的方針を定めて取り組まれることが期待されます。
29	Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b ○職員に対するプライバシー保護や権利擁護に関する基本的な理解を促すための研修が行われています。 ○保育の場面ごとのマニュアルや手引書の作成が期待されます。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
30	Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b ○保育所の説明は見学案内や入園説明会で行われています。 ○グループ内で看護師からの要望がありそれにえています。 ○利用希望者が主として企業内であるため公共施設等にパンフレットを置く等の積極的な行動はとられていません。
31	Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a ○保育の開始や保育内容の変更時に保護者の意向に十分に配慮して、わかりやすい説明も行われています。 ○保護者からの要望も聴き、できる限り応える対応がとられています。
32	Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b ○保育所等の変更があった場合は必要に応じて引継ぎ文書を作成しています。 ○相談方法や手順は企業内保育所の受け入れ分がほとんどであるためあらかじめ決められていません。手順が明確になるとより相談しやすくなるので整備が期待されます。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。			
33	Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b ○園の生活でメリハリをつけて楽しんでもらうため、季節の行事や行事食を計画し、実施しています。 ○玩具についても発達段階を考慮した工夫が見られます。 ○保護者ともコミュニケーションを図り、要望を受け、対応していますが、記録としてはまとまった物はないようです。 ○ご家族など利用者の満足度を把握する定期的なアンケートがあるとより利用者のニーズを掴みやすくなります。今後の取り組み、整備に期待します。
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
34	Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b ○重要事項説明書で説明を行い、保護者とは日頃からアプリを活用した対面以外の方法も行われています。 ○保護者に周知する部分に改善の余地があるようです。今後の整備に期待します。
35	Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b ○アプリを用いたやり取り、電話、対面など必要に応じて保護者の相談に応じています。相談の返答も園として複数の職員で協議し、返答しています。 ○今後は保護者に対して、相談する保育士等を自由に選べることを周知することが期待されます。
36	Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b ○日頃からこどもや保護者の変化を見逃さず、組織的に対応している事例もありました。園としてひとつの言葉を考える丁寧な援助の姿勢、取り組みがなされています。 ○マニュアルの拡充に期待します。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b ○各教室に置かれた複数のタブレットでヒヤリハット事例を職員間で記録、共有しておられます。 ○特に誤飲、怪我などの予防については、日常的に高い意識をもって臨まれています。 ○取り組みはなされていますが、今後は、その体制や仕組み、予定されている外部講師による研修について整備を進めてください。
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b ○園内の感染症対応について、非常に高い取り組みをされています。園長も看護師資格を保有し、衛生管理は徹底されています。直接援助で使い捨て防護服の着用などもその一端として挙げられます。 ○マニュアルなどには拡充の余地があります。法人母体である病院を参考に今後の整備に期待します。
39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b ○避難訓練を毎月され、避難経路をクラス毎でも細かく想定されています。 ○食料品の備蓄など敷地内にある病院と一体的にされている点は大きな強みです。しかし、その連携方法、物品の把握などは改善の余地があります。今後に期待します。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
40	Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b ○こども達の生活場面で組織的な取り組みをされています。こども達の動線を考慮し、自立を目指した保育がなされています。 ○その標準的な保育を一つにまとめたものは無いようです。今後の整備が求められます。
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b ○こども達の食事、排泄などの生活場面で組織的に取り組まれています。 ○標準的な保育は、マニュアルを求めるものではありませんが、可視化することで、保育を評価・チェックし、また、個別の指導計画との関連性を把握するためにも重要です。今後の整備に期待します。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
42	Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b ○全体的な計画、指導計画の作成を行っています。 ○アセスメントの更新、指導計画に対する保護者らの意向聴取について、拡充が望まれます。 ○全体的な計画と指導計画など各計画の連動性の改善に期待します。
43	Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b ○指導計画は、年度末に担当保育士が計画を立てています。休園日が無いことで、職員の勤務日が揃わないことを前提に話し合いを工夫しています。 ○タブレットは各教室に用意され、指導計画などもいつでも、その場で確認できる環境を整えています。 ○指導計画には、保護者の同意が必要となります。また、こどもや家庭の実態に合わせて年度途中でも指導計画を変更することも必要です。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
44	Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ○こどもの記録はタブレットを中心に記録、共有しています。活動風景などの画像も整理、保管され、保育内容の改善に活用しています。 ○秘匿度合の高い個人情報については別途、紙媒体で記録するなど考慮しています。
45	Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b ○個人情報保護規定があり、記録文書は内容により、紙媒体、電子媒体で保管しています。 ○タブレットはロックがかけられており、紙媒体の書類も園長が鍵をかけ保管しています。 ○個人情報保護規定に整備の余地があります。今後に期待します。

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成			
	項 目	評価	コメント
46	A-1-(1)-①		保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。
		b	○全体的な計画を策定しています。 ○全体的な計画の評価、見直しについて、更なる工夫が求められます。また、職員全員が参画することも工夫してください。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
47	A-1-(2)-①		生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。
		a	○乳幼児の理解し易さを考慮し、環境設定、調整しています。 ○子ども達が使用する設備も使いやすいものが設置され、自立のために手作りで用意されるものもありました。 ○0、1歳児が使用する玩具など滅菌乾燥し、日々の業務の中で衛生管理を徹底しています。
48	A-1-(2)-②		一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。
		a	○乳児期の子ども達が多い園で保育士は言葉に頼らず、子ども達とのコミュニケーションを具体物や絵なども活用し、保育に当たっていました。 ○トラブルが起きた時も、状況などから推察し、研修などでもその分析力の向上に努めています。
49	A-1-(2)-③		子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。
		a	○園内で子どもの発達状況に応じた基本的な生活習慣の援助だけでなく、家庭とも連携し、生活リズムに関わるような支援も行っています。生活習慣の獲得は家庭との連携が不可欠です。家庭に無理を強いることがないよう、園長含め、協議しながら丁寧に家庭との関わりを進めています。
50	A-1-(2)-④		子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。
		b	○園庭での遊びだけでなく、近隣の公園などに出かけ、身体を使った遊びなどを多く取り入れています。 ○園外の地域に出かけた折、コスモス畑の持ち主がきさくに声をかけるなど地域との繋がりを感ぜさせる出来事も子ども達は体験しています。
51	A-1-(2)-⑤		乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
		a	○愛着関係を持つため、アタッチメントに留意し援助を行っています。特に園はこの時期の子どもが多いことから0歳児クラスを月齢等で2つのグループに分け、より発達に添った援助を展開しています。 ○感染症予防のために玩具等の消毒を徹底しています。
52	A-1-(2)-⑥		3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
		a	○1・2歳児について、自然あそびやダンスなどを取り入れ保育を実施しています。 ○子ども達が大切にしている小さな石にも保育士が心を傾けて対応しています。 ○衛生管理は乳児クラス同様、滅菌乾燥を主とした消毒を実施しています。 ○日曜祝日は異年齢の合同保育を行い、他にも英語教室を取り入れています。
53	A-1-(2)-⑦		3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
			本保育所は2歳児までの保育で評価せず
54	A-1-(2)-⑧		障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
		b	○発達が気になる子どもの保育について、町役場の巡回指導を中心に助言指導を仰ぎ、保育の中に取り入れています。 ○テーブルなどへの配慮や具体的かつ肯定的な指示など、子どもがわかりやすい、個々の発達に応じた保育を実践しています。 ○今後、発達が気になる子どもへの個別支援計画が作成されるとより高い評価に繋がります。今後に期待します。
55	A-1-(2)-⑨		それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
		a	○法人内の病院で働く保護者のための保育園という特色もあり、夜間帯にかかる保育もしておられることはこの園の強みといえます。 ○日曜祝日も開園している中で、職員の引継もタブレットや勤務体制を工夫しています。 ○園独自で夜間保育も行われており、職員体制も個別対応と手厚く保育しています。
56	A-1-(2)-⑩		小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。
			本保育所は2歳児までの保育で評価せず

A-1-(3) 健康管理			
57	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	b ○こどもの健康に留意した保育をしています。 ○乳幼児突然死症候群への取り組みでは、床から10cmの高さがある通気性の良いベッドを準備し、入眠確認も5分間隔、3名体制で行っています。 ○「保健計画」「健康に関するマニュアル」などの整備が求められます。
58	A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a ○年2回、健康診断、歯科検診を実施しています。保護者への伝達もアプリを活用し、その結果を伝えています。 ○家庭への助言なども複数の職員で検討し、進めています。
59	A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b ○毎月、三園会議でアレルギーのお子さんを全園で確認、把握しています。系列の保育園全てで組織的にアレルギーに対し、取り組まれています。 ○アナフィラキシーへの対処、行動手順も文書にされています。 ○食育計画、提供時の食器など工夫されています。 ○今後、ガイドラインの拡充を期待します。

A-1-(4) 食事			
60	A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a ○外部委託している食事を園屋内中央の部屋でこどもに合わせ加工し、提供しています。 ○テーブルや椅子、食器などこども達が食べやすいよう配慮しています。 ○季節に応じ、野菜を育て、収穫し、食べる食育にも取り組んでいます。 ○特に乳児のお子さんの食事の進み具合などは保護者と情報共有しています。
61	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b ○保護者に園で使用する食材を情報提供し、アレルギーに配慮した取り組みを実施しています。 ○外部委託している業者と栄養素配分表や献立などの情報共有を行っています。 ○今後は、委託業者との更なる連携とマニュアルの拡充に期待します。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
62	A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b ○アプリも活用し、家庭と連携しています。 ○園長含め、職員は保護者との信頼関係を築くことを大切にしておられ、安心して預けてもらえるよう保育を行っています。 ○園の方針や勤務体制など難しい点は多いと思いますが、保護者の保育参観、保育参加の機会を作られることを期待します。

A-2-(2) 保護者等の支援			
63	A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b ○保護者に安心して預けてもらえるよう園独自の取り組み含め、支援しています。 ○相談について、園長、主任保育士など対応窓口を都度、検討しています。記録に関してもその内容から保管方法を変えています。 ○どの職員でも適切な対応がとれるようクラス毎や、園長と主任保育士など体制を作っています。 ○今後、この体制が可視化され、更なる保護者支援の充実に繋がることを期待します。
64	A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b ○マニュアル等作成されています。 ○虐待防止に関して、行政への通報を含め、適切に対処されています。毎朝の視認、記録など行われ、その後の対応も協議をしながら進めています。 ○町役場と密に連携していますが、今後はその連携記録も保管されることを求めます。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
65	A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b ○業務上、必須となる研修以外にも希望すれば受講できる機会を作っておられ、日頃のOJTや自主研鑽も職員が主となって取り組んでいます。 ○園の求める明確な職員像が示され、日頃から職員間でも求められている姿を意識しています。 ○職員が振り返りなどに参画できていますが、今後、保育の専門性の向上を可視化したものが全職員に周知されることを期待します。